

英検取得ロードマップ

【公立中学校～高校編】

当教室では英検の取得をおすすめしています。英検は模擬試験とは異なり、実際の英語力を測定できるテストです。英検に合格することで自信がつき、英語への前向きな姿勢が生まれます。また、上智大学やMARCHをはじめとする多くの大学が英検CSEスコアを大学入試として利用することができるため、大学進学を目指す方にも積極的に受験をおすすめします。

中学生からの英検受験では、3級から始めることをおすすめします。3級からは、1次試験での「リーディング、ライティング、リスニング」という「3技能」を測定することや、2次試験での面接試験が課せられるため、より本格的な英語力を身につけることができます。また、3級から次の級へのステップアップがスムーズで、3級は次の準2級を目指すための重要なステップとなります。


英語は、「中学生がポイント」です。将来に向けて、どんどんやって貯金をつくっておきましょう。

ご参考に

当教室では、小学生の英語教育には、一定の距離を置いています。まずは、しっかりとした国語力を身につけることが先決です。日本語の文法や表現力が十分でないと、効率的に英語を学ぶことはできません。中学1年生から英語を学んでも、小学生から英会話教室で学んだお子さんに追いつき追い越せません。また、多くの生徒が和文英訳問題に苦手意識を抱くのは、日本語の文法や構造を十分に理解できていないことが原因です。例えば、主語・述語・修飾語などは小学4年生で学習することになっていますが、理解できていない生徒さんは、英語習得が遅れが生じます。

英検取得ロードマップ【公立中学校】

従来型の英検受験をベースにしています。S-CBT（1日で4技能を測定）はコンピュータで受験するため、中学生にはまずは、従来型の受験をお勧めしています。

 **3級取得** 中学2年次の”第2回”で取得できるのが理想です。

1年次 **4月～7月** **8月～11月** **12月～3月**

当教室採用1年次の教材
でる順パス単5級

当教室採用2年次の教材
でる順パス単4級

1年生の前半は、基礎英文法の習得に力をいれています。特に早期に、品詞を理解することは重要！また、英単語・句動詞の覚え方など、しっかりとした基礎をつけましょう。

2年次 **4月～7月** **8月～11月** **12月～3月**

▲
第1回


▲
第2回

▲
第3回

当教室採用2年次の教材
でる順パス単3級/3級ライティング問題

当教室採用3年次の教材
でる順パス単準2級

2年生までの文法に加え以下の文法事項を履修(当教室採用の2年次の教材に収録済み)
受動態/現在完了/不定詞(発展)/間接疑問文

 **準2級取得** 中学3年次の”第1回”で取得できるのが理想です。

3年次 **4月～7月** **8月～11月** **12月～3月**

▲
第1回

▲
第2回

▲
第3回

当教室採用3年次の教材+高校英語I(一部)
でる順パス単準2級/準2級ライティング問題


公立高校入試対策

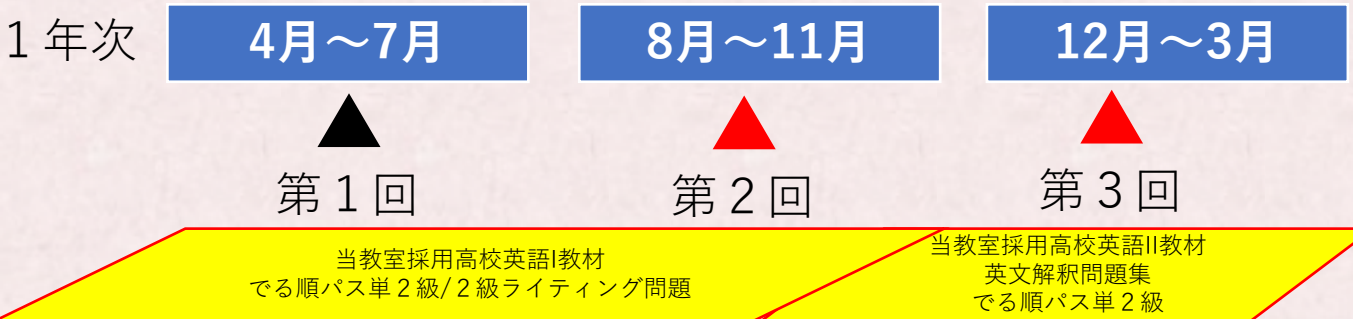
新課程では、使役動詞/仮定法過去/現在完了進行形なども中学で履修準2級の英文法の多くをカバーできています。

※ 当教室では、英検対策は、日ごろの授業の中で培ってもらっています。もちろん、英作文対策や、過去問対策なども通常授業の一環として実施しています。


英検取得ロードマップ【高校編】

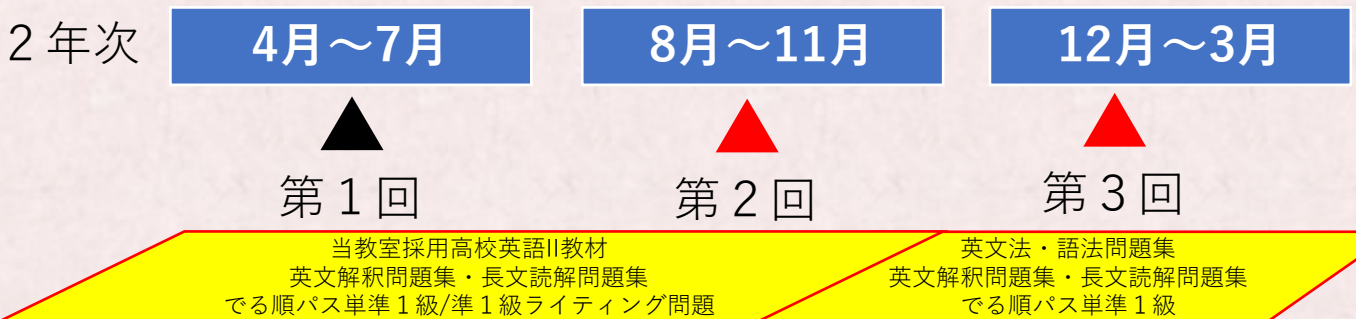
従来型の英検受験をベースにしています。英検受験の経験がある高校生には、1日で4技能を測定できるS-CBTもお勧めします。

 **2級取得** 高校1年次の”第3回”までに取得できるのが理想です。



文法・語彙だけでなく様々な文章を読んで力をつけていきましょう。
合格するためのカギは、これまでと同様にライティングです。
リーディングは、より社会的、文化的な内容の文章が出題されます。
("Bedouin"などを題材にした英文が出た際は、中学生はさすがに苦戦しました)

 **準1級取得** 高校2年次の”第3回”までに取得できるのが理想です。
高校3年次はハイスコアを目指しましょう。



英検準1級から、一気に難しくなります。2級とは大きな壁があります。
大学入試に向けて、合格だけでなく、高CSEスコアを目指しましょう。
ライティングですが、「introduction, main body, and conclusion」の構成を求められより本格的になります。大学受験のライティングにも役立ちます。
リーディングでは、文章自体が難しくなるだけでなく、解答の選択肢も難しくなるのでしっかりとした文法・構文の力が試されます。